

■出題傾向

小学校や中学校で繰り返し学習してきた、話すこと、聞くこと、書くこと、読むこととの分野のうち、書くこと、読むこととの分野について、高等学校で学習するための、基本的な力が身に付いているかどうかを確認するための出題をします。

●出題する文章は現代文と古文

[現代文関係]

- ・漢字の読み書きの問題
- ・口語文法の知識を確かめる問題
- ・一般常識を確かめる問題
- ・文章の展開に従って正確に読み取ることが出来るかどうかを確かめる問題
- ・文章の要点をまとめる問題
- ・指示語、接続語などに関する問題
- ・熟語、ことわざなどの言語事項に関する問題
- ・表現技法に関する問題及び短作文を書く問題
- ・解答の形態は、記述、記号選択、空欄補充など

[古文関係]

- ・漢字の読み
- ・歴史的仮名遣いなどの古文を学習する上での基礎事項の問題
- ・指示語などに関する問題
- ・全体の内容を把握する問題
- ・文学史の知識を確かめる問題
- ・解答の形態は、記述、記号選択、空欄補充など

■解答分析

- ・漢字の誤字が多い。
- ・文章をきちんと読まず、思いこみで解答する傾向がある。
- ・口語文法の基礎ができていない。
- ・古文の内容の把握ができていない傾向がある。

■学習アドバイス

多くのジャンルの文章に接して、文章を読むことに慣れることが大切です。特に、評論は、読んだ後で「要約」したり、「要旨」をまとめることを通じて、筆者の言いたいことを的確に受け取る力（読解力）を身につけることが大切です。そのために、教科書以外で、新聞のコラムなどを読み、まとめることに挑戦することが有効と考えます。また、細部にも目を配ること、特に類似表現（言い換え部分）や、対義表現がどこかを確認しながら読む練習をすることも心掛けてください。

漢字は、正しい筆順で正確に書くことを日頃から心がけてください。また、わからない言葉や不確かな言葉が出てきたら、すぐに辞書で意味を調べることで、自分の言葉が豊富になっていきます。また、口語文法の知識を充分につけておくことも大事になります。

古文では、学校の基礎的な古文学習のほかに、説話または随筆の古文に多く触れ、文章全体の内容を把握できるようにしておくことが必要です。